

<MariaDB インストール手順>

1. はじめに

KINDAI AVD とは、授業や自由利用に必要なソフトウェア等、大学所定の要件を備えたクラウド上の PC 環境（Windows /Linux）を、自分の端末（Windows、Mac 等の PC）から遠隔で利用できるシステムです。

1.1 本書の位置づけ

本書は、KINDAI AVD Linux 環境での「MariaDB」を利用する場合、利用前に必要とするプログラムインストールの手順を示しています。

プロファイル削除に伴う OneDrive への MariaDB 内のデータベース退避・リストアの手順については、別途、[【KINDAI AVD】MariaDB データ退避・リストア手順書](#)の方を参照してください。

1.2 用語の定義

用語	説明
MariaDB	MySQL よりも処理速度や堅牢性が向上した Linux 環境で動作するリレーショナル型データベース(RDB)です。 RDB とは、データベースの管理手法のひとつです。データを複数の表の形で管理し、表同士を関連付けすることで複雑なデータも取り扱えます。
端末（ターミナル）	GUI 上でコマンドによる操作(CLI)環境を提供するアプリケーションのことを指します。 ファイルやディレクトリの操作、システムの管理・情報の表示など、Linux での細かい設定や操作を行う際に利用します。
ディレクトリ	Windows や Mac でいうところの「フォルダ」を指します。 Linux は階層的なファイルシステム構造になっており、各ディレクトリには特定の種類のファイルやデータが格納されており、ディレクトリ毎に役割が異なります。

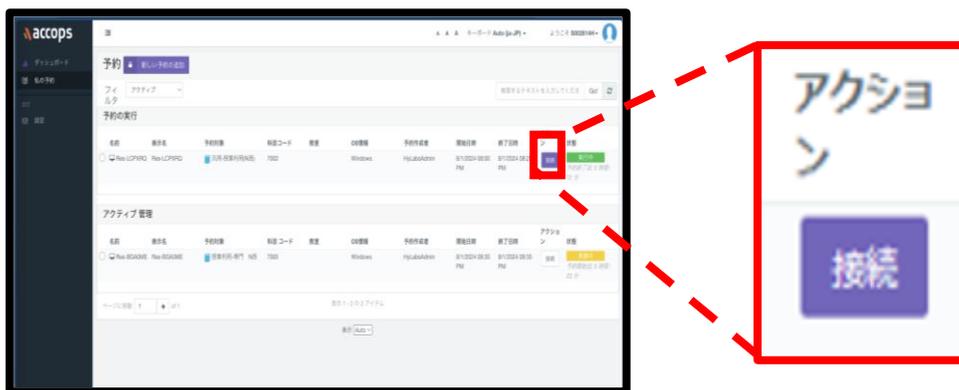
2. MariaDB インストール手順

2.1 「Accops」を起動

2.1.1 KINDAI AVD から「接続」ボタンを押下

下記の URL を押下し、KINDAI AVD に表示される Linux 環境の「接続」ボタンを押下します。

URL : <https://test.virtualdesktop.kindai.ac.jp/>



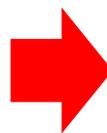
2.1.2 Accops 認証画面にてパスワードを入力

Accops 認証画面が表示されますので、パスワードを入力して「OK」を押下します。

KINDAI AVDLinux 環境が立ち上がり、ホーム画面が表示されます。

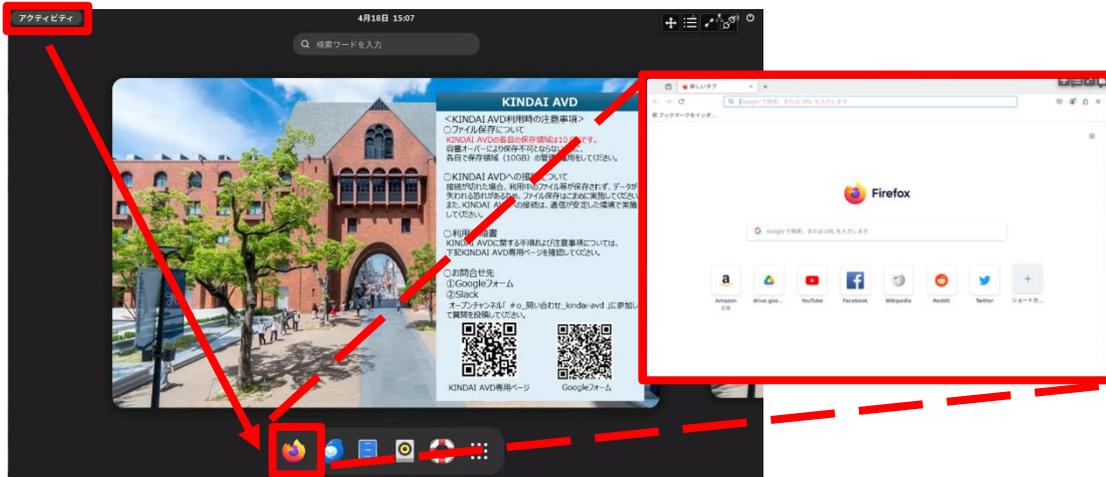
★教職員番号をお持ちの方の場合

Accops 認証画面で「username」を L + 教職番号に変更してください。



2.2 Bash ファイル「mariadb.sh」をダウンロード

2.2.1 Linux 環境で「Firefox」を起動



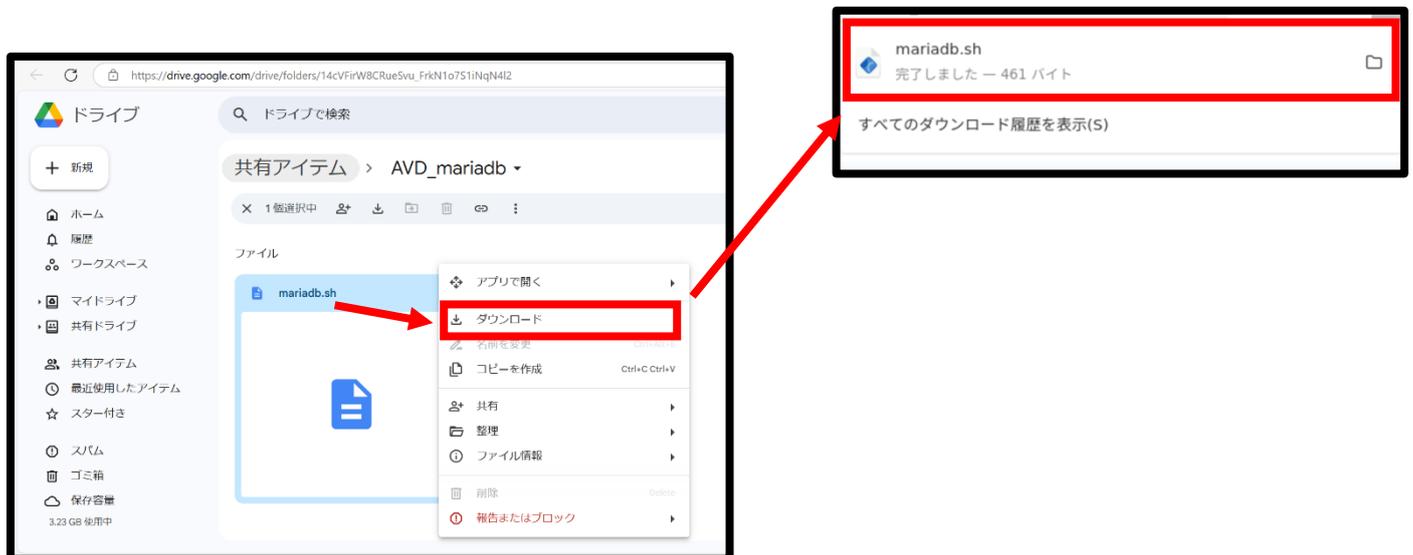
2.2.2 URL から「mariadb.sh」をダウンロード

Firefox で下記 URL をコピー & ペーストします。Google Drive から「mariadb.sh」ファイルを選択し、ダウンロードを押下し、ポップアップが表示されましたら、ダウンロード完了です。

※Linux 環境でおこなってください。

ダウンロード URL :

https://drive.google.com/drive/folders/14cVFirW8CRueSvu_FrkN1o7S1iNqN4I2?usp=sharing



★下記の画面が表示される場合は、「エラーを無視してダウンロード」を押下してください。



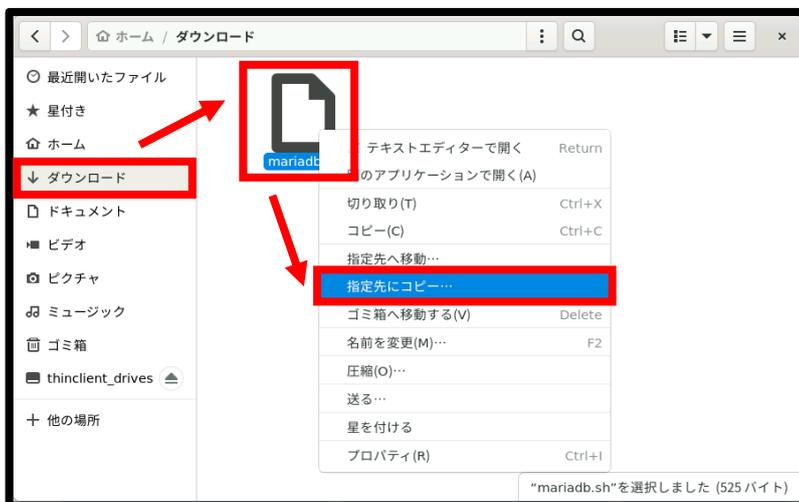
2.2.3 仮想環境で「ファイル」を起動

画面左上の「アクティビティ」を押下し、ツールバーが表示されますので、ツールバーの「ファイル」を押下し、アプリケーションを起動します。



2.2.4 ダウンロードされた「mariadb.sh」を指定先にコピー

「アクティビティ」からファイルを押下します。「ダウンロード」を選択し、「mariadb.sh」を押下します。選択バーが表示されますので、「指定先にコピーする」を押下します。



2.2.5 「mariadb.sh」の指定先にホームを選択

選択バーから「ホーム」を押下し、右上の「選択 (S)」ボタンを押下します。



★ホームディレクトリに「mariadb.sh」が表示されましたら、設定完了です。



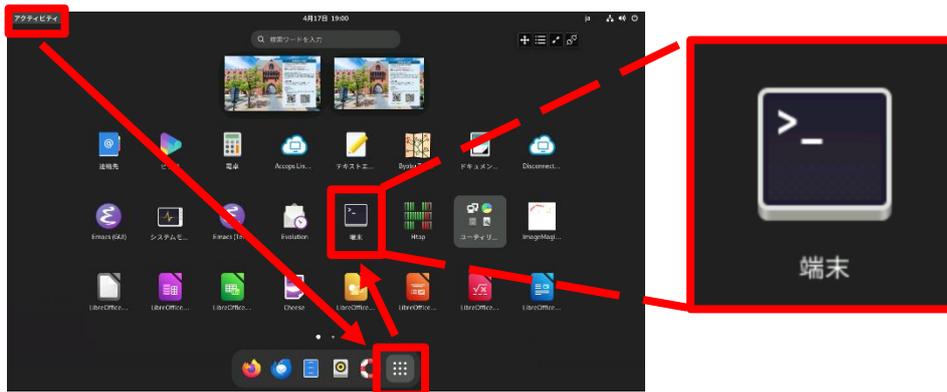
2.3 「mariadb.sh」で MariaDB をインストール

2.3.1 アプリケーション一覧から「端末」を起動

画面左上の「アクティビティ」を押下し、ツールバーが表示されますので、

ツールバーの「アプリケーションを表示する」を押下します。

アプリケーション一覧が表示されますので、「端末」を押下し、アプリケーションを起動します。



<コマンドの利用法について>

端末から「mariadb.sh」の Bash ファイルを実行する……①

\$./mariadb.sh……………②

①： 端末（ターミナル） 内で入力するコマンドの説明文になります。

②： 端末（ターミナル） 内で入力するコマンドになります。コピー & ペーストでお使いください。

コマンドを入力したら、Enter キー押下します。

★ 端末（ターミナル） でのコピー & ペーストがうまくいかない場合

Ctrl キー + Shift キー + C/V で入力することで解消される場合がございます。

2.3.2 シェルスクリプトファイルの改行コードを変更

端末

端末から mariadb.sh の改行コードを LF に変更する

\$ sed -i 's/¥r//' *.sh

2.3.3 シェルスクリプトファイルに実行権限を付与

端末

端末から mariadb.sh に実行権限を付与する

\$ chmod +x mariadb.sh

2.3.4 mariadb.sh を実行

端末

```
###端末から「mariadb.sh」の Bash ファイルを実行する
```

```
$ ./mariadb.sh
```

★入力欄が「MariaDB[(none)]>」と表示され、SQL コマンドが実行可能になります。

以上で MariaDB のインストール手順終了となります。

2.4 Maria DB インストール後に接続する場合（2 回目以降）

MariaDB に接続する際は下記のコマンドを入力してください。

端末

```
###端末から MariaDB を起動する
```

```
$ app/mysql/bin/mariadb-safe &
```

```
###端末から MariaDB に接続する
```

```
$ app/mysql/bin/mariadb
```

★入力欄が「MariaDB[(none)]>」と表示され、SQL コマンドが実行可能になります。